

粘弾性測定装置による熱分析（DSC/TMA および DMA）講習会

1. 概要

粘弾性測定装置は、温度変化により物質の特性（熱膨張係数・相転移温度等）を把握することが可能な分析機器です。本装置では、示差走査熱量測定*1（DSC）、熱機械分析*2（TMA）および動的粘弾性測定*3（DMA）が可能です。測定と解析には様々な知識と技術の習得が必要です。

本講習会では測定原理から各々の測定方法、データ解析に至るまで座学と実演を行い、本装置の利用に向けて初級者から中級者を対象としたスキルアップを目指します。

（*1；相転移温度と熱量の測定 *2；熱膨張係数や軟化点の測定 *3；弾性率、粘性率の測定）

2. 開催日時・場所

【日 程】 ①DSC/TMA講習会 平成 28 年 11 月 15 日（火）
 ②DMA講習会 平成 28 年 11 月 16 日（水）

【時 間】 9：30～16：30（予定）

【会 場】 地方独立行政法人山口県産業技術センター 第 1 研修室および自動化研究室

3. 対 象

熱分析（DSC/TMA および DMA）試験をされている方、粘弾性測定装置に興味のある方

4. 講師及び研修プログラム

【講師】

株式会社エポロードサービス サービス部 分析サービス一課 福島丈裕氏（予定）

【プログラム】

DSC/TMA講習会 11月15日（火）	
9：30～ 12：00	<座学> 熱分析概要、DSC/TMAの基礎・測定方法および事例の紹介
13：00～ 16：30	<実演・個別相談> DSC/TMAの測定・データ解析
DMA講習会 11月16日（水）	
9：30～ 12：00	<座学> 動的粘弾性概要、DMAの基礎・測定方法および事例の紹介
13：00～ 16：30	<実演・個別相談> DMAの測定・データ解析

5. 申込方法

申込書に記入のうえ、FAX または Eメールにてお申し込み下さい。

申込締切 11 月 8 日（火）

6. 装置紹介



粘弾性測定装置（セイコーインスツルメンツ（株）、EXSTAR6000/DMS6100,DSC6200,TMA/SS6100）

粘弾性測定装置による熱分析（DSC/TMA および DMA）講習会参加申込書

FAX：0836-53-5070

E-mail：soudan@iti-yamaguchi.or.jp

● 本申込書に必要事項を記入し、ファックスでお申し込み下さい。

● 必要事項の記載された電子メールでもお申し込み可能です。

(地独) 山口県産業技術センター 企業支援部技術相談室 宛

会社・団体名：

所在地：(〒 -)

連絡先： TEL - - FAX - -

参加者氏名	参加希望 (○または ×)		E-mail
	DSC/TMA	DMA	

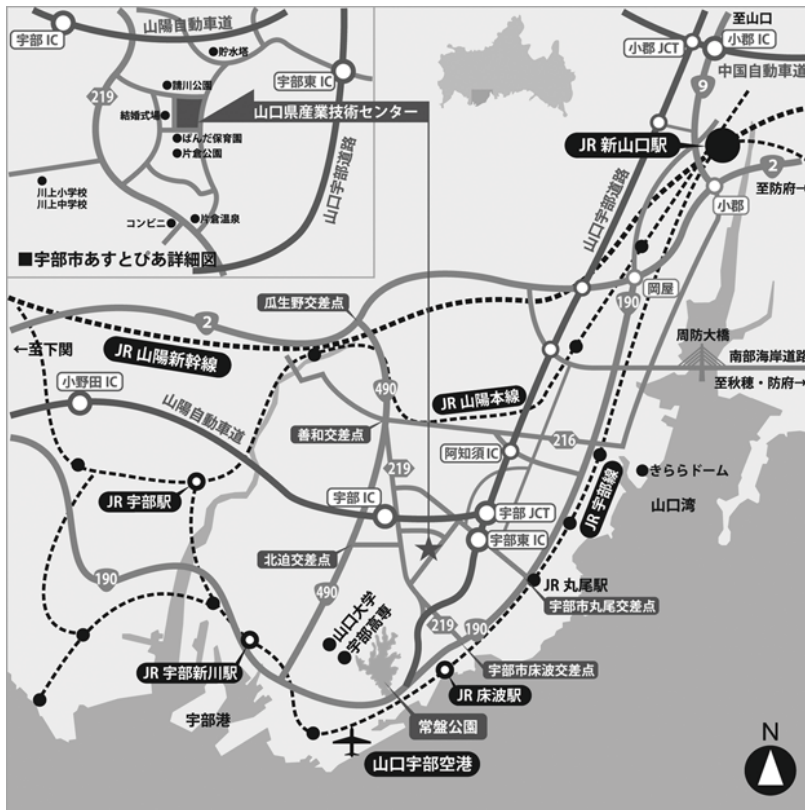
※ 個別相談にて測定方法・データ解析のご希望がございましたら、11月8日までに担当者（有富）へご連絡下さい。

※ 参加申込書に記載された個人情報、申し込み内容の確認、参加者名簿の作成及び次回以降の開催案内にのみ利用します。

※ 応募状況により各社1名となるようにお願いすることがあります。

◆ お手数ですが、11月8日（火）までに本参加申込書をご送信ください。

◆ 会場案内図



◆ お問い合わせ

〒755-0195 山口県宇部市あすとびあ4丁目1-1

(地独) 山口県産業技術センター 企業支援部 技術相談室 (担当：有富)

TEL：0836-53-5053 Fax：0836-53-5070

E-mail：soudan@iti-yamaguchi.or.jp URL <http://www.iti-yamaguchi.or.jp/>